小林ぜんいち NEWS
Zenichi Kobayashi

ご挨拶

令和5年度決算議会で明らかになった
「旧区役所・中野サンプラザ跡地」再開発事業がストップ
工事費などの高騰で事業費がかさみ、計画の見直しが迫られ
中野駅前に巨大空き家が残り、区の責任を問う

中野区議会第2回定例会決算特別委員会が開催され
令和5年度の中野区一般会計決算は歳入総額が2,040億円余、
歳出総額が1,986億円余と、実質収支額34億円余の黒字となりました。
特別区交付金も過去最多の473億円で、好調な歳入の状況は続いているものの、
自主財源比率の低下はリスクが伴います。
安定した財政運営には安易な財源規模拡大を慎み、適正な財政規模を見極める必要があります。
歳出では、高校生等18歳以下の医療費助成事業、補聴器購入費用助成の検討、
中野駅周辺、西武新宿線沿線、防災まちづくりなど、
我が会派が求めた事業の前進が図られ、各種財政指標の上からも評価できます。
一方で、総括質疑の小林の質問(9月19日)で初めて明かされた
「旧中野区役所、中野サンプラザ跡地の再開発事業の着手困難に」。
中野駅新北口駅前エリア市街地再開発事業の建設費が急遽900億円程度上振れし、
年度内の事業着工ができなくなることが明らかになりました。
莫大な額のリスクで、抜本的な区政運営、財政運営の考え方にも影響を与えます。
来年度予算編成については区民が納得できるよう説明をすること、
さらに物価高に苦しんでいる区民の生活を念頭に置き、区の責任を明確にし、
区政運営を行っていくことを更に強く求めて参ります。

小林 ぜんいち

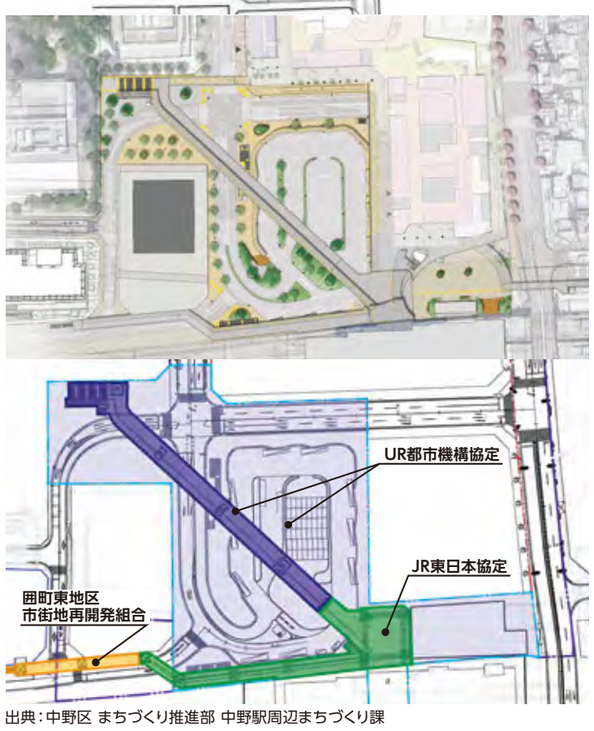
KOMEITO 公明党
第44号
2024年11月発行
中野区公明党議員団

生成AIにより作られた紅葉

中野駅西口及び新北口駅前歩行者専用通路(デッキ)について

中野駅新北口駅前広場整備

旧区役所・中野サンプラザ跡地の再開発建物事業はストップしますが、JR中野駅西口改札は完成します。
新北口駅前の歩行者専用通路(デッキ)について、囲町(西)方面とセントラルパーク・四季の都市(まち)(旧税務署・北西)方面は、2030年(令和12年)にそれぞれの事業者によって完成予定です。
また、新北口バス停などロータリーも完成予定です。
再開発建物(北)方面は、当面見送られます。



出典:中野区 まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課

新北口歩行者広場・専用通路 完成予想図(2030年3月完成予定)

Home Page
Facebook
X (Twitter)
HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
ホームページ
http://kobayashizenichi.com/
Facebook
「小林ぜんいち」で検索
旧・Twitter
「小林ぜんいち」又は
「@koba_zen」で検索

小林 ぜんいち

■議会役職等
- 公明党議員団 幹事長
- 総務委員会 委員
- 中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会 委員
- 中野区都市計画審議会 委員
- 消防団運営委員会 委員

■経歴
- (株)宮本忠長建築設計事務所
- (有)TAF 設計事務所
- 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等 講師など

■所属団体等
- (社)日本建築学会正会員
- (社)東京建築士会正会員
- 福祉住環境コーディネーター協会会員
- マンションリフォームマネジャー
- 日本防災士会会員
- 早稲田大学稲門建築会会員
- 中野稲門会会員
- 中野区長野県人会副会長
- 桃園地区上町町会会長

中野区議会 公明党議員団　中野区中野 4-11-19 TEL.03-3228-8875

令和6年第3回定例会 総括質疑

(2024.09.19 総括質疑)

総括質疑 項目

1.令和5年度中野区決算について
(1)令和5年度の特別区債と基金について
(2)中野区歳入歳出決算額について
(3)財政指標と分析について
(4)中野駅新北口駅前エリアのまちづくりについて
(5))区のDX政策について
(6)その他
- 新庁舎について

2.小中学校の保護者負担軽減について
(1)中野区の小中学校の昼食費相当分について
(2)小学生の保護者負担軽減について
(3)中学生の保護者負担軽減について

3.その他
(1)すこやか福祉センターの歯科診療ユニット(治療台)について
(2)各種工事施工管理等について
(3)江古田三丁目重度障害者グループホーム等整備について

小林ぜんいち 令和6年(2024年) 第3回定例会 総括質疑から抜粋

中野駅新北口駅前エリアのまちづくり

旧中野区役所、サンプラザ跡地の再開発、着手困難
駅前に巨大空き家、区の責任を問う

小林 市街地再開発事業の施行認可申請のスケジュールについて、施行予定者間での保留床処分金の負担に係る協議が整わないことから、関係権利者への事業計画に関する同意依頼を行うことが困難な状況となっていました。
本事業計画については、工事費の高騰などにより事業収支が折り合わず、計画が遅れるのではないかとの話も聞きます。
中野四丁目駅前地区の市街地再開発事業については、5社から4社に変更し、各地権者による事業計画同意後、施行予定者が7月初めに東京都に施行認可申請を行ったようです。
施行予定者による施行認可申請後の進捗状況を聞きます。

区 施行予定者より、事業認可申請手続を一時保留し、今年度予定していた事業の執行ができない旨の通知があった。

小林 事業が遅れることにより、どのような影響があるのか。

区 今年度内の転出補償金の受領、今年度予算約100億円の執行ができない。また、旧区役所高層棟及び中野サンプラザの解体工事着手が遅れ、建物の維持管理経費も必要となる。

小林 事業収支が成立しないのであれば、事業計画の見直しが必要ではないか。

区 本地区の都市計画、拠点施設のコンセプト、歩行者ネットワーク構成等を踏まえ、再検討を進める。

小林 区の権利床の面積は変わるのか。

区 施設計画の変更内容によっては、権利床の面積が変更になる可能性もある。

小林 まちづくり中野21の借入金の金利負担はいくらか。

区 年間約6400万円である。

令和5年度決算について

小林 区債発行額が多く、財政運営上の制約となる。償還を遺漏なく進め、金利負担を抑える必要があるではないか。

区 新庁舎の財源として発行した額は多額で、速やかな償還が必要と考えている。

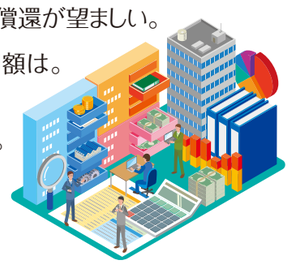
小林 2年の定時償還ではなく、普通の償還としてはどうか。

区 利息負担を抑制するため、短期の償還が望ましい。

小林 今後の定時償還時期と金利負担額は。

区 令和7年3月に約7600万円、同年7月に約1900万円を想定している。

小林 将来負担の増加、基金取り崩し、起債返還額増加について、区の見解は。



区 区財政に影響を与えることになるため、留意すべきと考える。

小林 経常経費充当一般財源の増加が著しい原因はなにか。

区 財政調整交付金約26億円の増加が主な要因である。

小林 今後の経常経費削減をどのように考えているか。

区 経常的に実施している事業について、エビデンスを基にした分析により、適切な財政需要推計を行い、適切な予算規模とし、決算時の見込み差、残額の縮減に努める。

小林 将来負担を考え、基金積み立てと起債活用のバランスについて再考してはどうか。

区 長期的な財政フレームを考慮し、基金全体の積み立ての考え方の再考を検討する。

小林 基金、起債の分析は、単年度ではなく、長期的にすべきでは。

区 財政フレームにおいて、10年先の予測を行い、長期的な負担額や将来予測を分析している。

小林 金利負担を考え、起債抑制の方向性を明確にしてはどうか。

区 基金、起債の全体の考え方について検討したい。

小林 起債は可能な限り抑制することが必要と考えるが、区の考えはどうか。

区 歳出と歳入の状況を踏まえ、総合的に起債発行の最終判断をする考えである。

小林 令和7年度の予算編成方針において、決算の結果をどのように活かすのか。

区 見直しが必要な事業については、既存事業等の廃止、統合、縮小を検討し、歳出の抑制を徹底していく。

中野区のデジタル(DX)政策について

小林 DXへの事業投資は経常経費化するため、経費削減の目標を作成すべきではないか。

区 全てのDX政策について、経費削減の目標を示すことは難しい。

小林 導入による効果について、目標値を作る等、区民が分かりやすい評価を行うべきではないか。

区 区民や職員へのアンケートなどを検討している。

小林 システム管理、運用の改善すべき点をどのように考えているのか。

区 職員へのアンケートを行うなど、改善点の把握に努めている。

小中学校の修学旅行保護者負担について 全額補助を実施してはどうか

小林 小学校の移動教室における、バス代、宿泊代、見学料等の費用負担は、どのようになっているのか、伺う。

区 バス代及び宿泊費等を公費負担している。

小林 中学校の修学旅行における費用負担は、どのようになっているのか。

区 交通費や宿泊費、企画料、拝観・入場料等の負担がある。

小林 修学旅行における保護者負担軽減のために、全額補助の取り組みを実施すべきではないか。

区 財政的な負担も勘案し、検討していきたい。

すこやか福祉センターに設置されている歯科診療ユニットの利活用について

小林 各すこやか福祉センターにおける、歯科診療ユニット、治療台の利活用の状況は。

区 個別歯科相談において、年に数回利用している。

小林 子育て専門相談、個別の歯科相談の実施状況を聞く。

区 子育て専門相談における歯科関連の相談は154件、個別の歯科相談は274件である。

小林 高齢者の口腔フレイル予防講座などを実施し、歯科診療ユニットを活用しては。

区 高齢者の口腔フレイルについては、出前講座の機会が増えている。

小林 かかりつけ歯科医がいない場合、中野区歯科医師会等につなげてはどうか。

区 かかりつけ歯科医の紹介にも対応していきたい。